

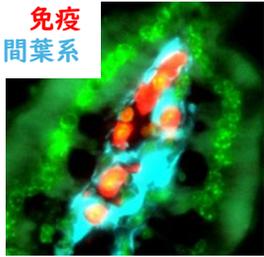
**免疫アレルギー疾患制御への3本の矢**  
によって新たな疾患治療法の確立を目指しています  
一緒に未知なる冒険の扉を開こう

-  炎症性腸疾患新規線維化治療薬の開発
-  腸内細菌研究により新たな治療法の開発へ
-  アレルギー細胞機能切り替えスイッチ探索

## 炎症性腸疾患 新規線維化治療薬の開発

慢性炎症に関わる「免疫-神経-間葉系」  
相互作用を標的とした新規疾患治療法の開発

免疫  
間葉系



治療用抗体作製

次世代疾患モデルの構築

シングルセル解析  
時空間トランスクリプトーム

## アレルギー細胞機能 切り替えスイッチ探索

アレルギーを起こす細胞から治す細胞を  
効率的に切り替えることを  
目指した創薬開発と機能解析

↓新たな解析系の確立

近年、新しいマスト細胞株を樹立  
スクリーニングによる抗アレルギー薬の探索

## 近年の研究業績

- 腸内細菌
- 線維化
- アレルギー

2025

*Circulation Research*  
*The World Allergy Organization journal*

2024

*Clinical and translational allergy*  
*Seminars in immunopathology*

2023

*NPJ vaccines*  
*Trends in molecular medicine*  
*Frontiers in immunology*  
*Respiratory investigation*  
*Allergy*

2022

*European journal of immunology*  
*Proc Natl Acad Sci USA*  
*Frontiers in immunology*  
*Allergology international*  
*Allergy*  
*Scientific Reports*

2021

*Nature Communications*  
*Cells*  
*Mucosal immunology*

## 腸内細菌研究により 新たな治療法の開発へ

近年、臓器連関を介した**粘膜保護因子**  
を新たに発見

↓この技術を利用した

慢性疾患の原因腸内細菌を探索  
疾患制御法の開発  
「臓器連関機能を活かした  
マイクロバイオーム(腸内細菌)創薬」  
創発的研究支援事業JST

臓器連関

マイクロバイオーム創薬



臓器連関機能の増進法の開発

原因腸内細菌検査キットの開発



## 教育

学振特別研究員(DC2)、全方位プログラム、卓越大学院プログラムに  
所属する学生が多く、国内外の学会での発表や研究費の獲得にも積極  
的に取り組んでいます。

また、国際共同研究や産学連携にも力を入れており、カリフォルニア大  
学をはじめとする海外研究機関への留学や企業との連携に対しても、積  
極的にサポートを行っています。

## 学生募集中

進学相談は下記にご連絡ください。

倉島洋介 Yosuke Kurashima

連絡先: [yosukek@chiba-u.jp](mailto:yosukek@chiba-u.jp)

<http://m.chiba-u.jp/class/innovativemed/index.html>

